

【改めて、未病を考えてみます】

「未病」の定義は、「未（いま）だ、病（や）まず」ですから、症状が生体に現れていなくても、体の中に病が成立しつつある状態です。

漢方の考え方では、病気の原因を、内なる原因（内傷・ないしょう・）と外からの原因（外感・がいかん・）に分けて考えていますが、どちらが主かといえば、これはもう「邪気ノ侵入」ということで、外感から始まるものが主と考えています。

「未病」は、あるレベルまで外邪の侵入を受けてはいるが、内臓（五臓）にまで影響が及んでいない、つまり、生体の抵抗力（衛気・えき・）は十分に機能している状態と考えられます。

抵抗力が勝っているため、発病しないということですね。